

お知らせします！ まちの行財政 2014

平成26年度
予算説明書

岩手県葛巻町



安心して住み続けられる

まちづくりのために **88**億円

発行にあたって



岩手県 葛巻町長
鈴木重男

町民の皆様には、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

多くの町民の皆様からご信任を賜り、2期目の町政を担当させていただき、現在に至るものでありますが、2期目の公約では、官や民といった区分ではなく、「町民一体となった光り輝くまちづくり」を実現していくことをお約束し、全力で町政運営に傾注して参りました。

平成26年度予算においては、葛巻病院の改築や江刈簡易水道整備の事業費を大幅に増額し、早期完成を目指した本格的な事業の推進を図るとともに、総合運動公園の大規模改修や定住促進住宅の整備など、定住対策につながる大型事業にも取り組んで参ります。

また、県下で依然として下位にある水洗化率を県平均近くまで引き上げたいと考えており、水洗化工事に対する補助対象を一般世帯にも拡大して参ります。

私は、町民の皆様が抱える不安を一つでも多く取り除くことで、安心して暮らせる環境を整え、町民にとって「住み続けたいと思えるまちづくり」を実現したいと常々申し上げております。そうした観点から、各分野において地域間やハード事業とソフト事業とのバランスを取りつつ、スピード感を持ちながら一步一步着実に前進して参りたいと考えております。

町民の皆様には、今後とも町政への積極的な参画とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年5月

目次

1p	発行にあたって
2p	まちの予算の状況
6p	総合計画体系別の予算の状況
21p	まちの決算の状況
28p	まちの財務諸表
30p	まちの行政組織

平成26年度 まちの 予算 の状況

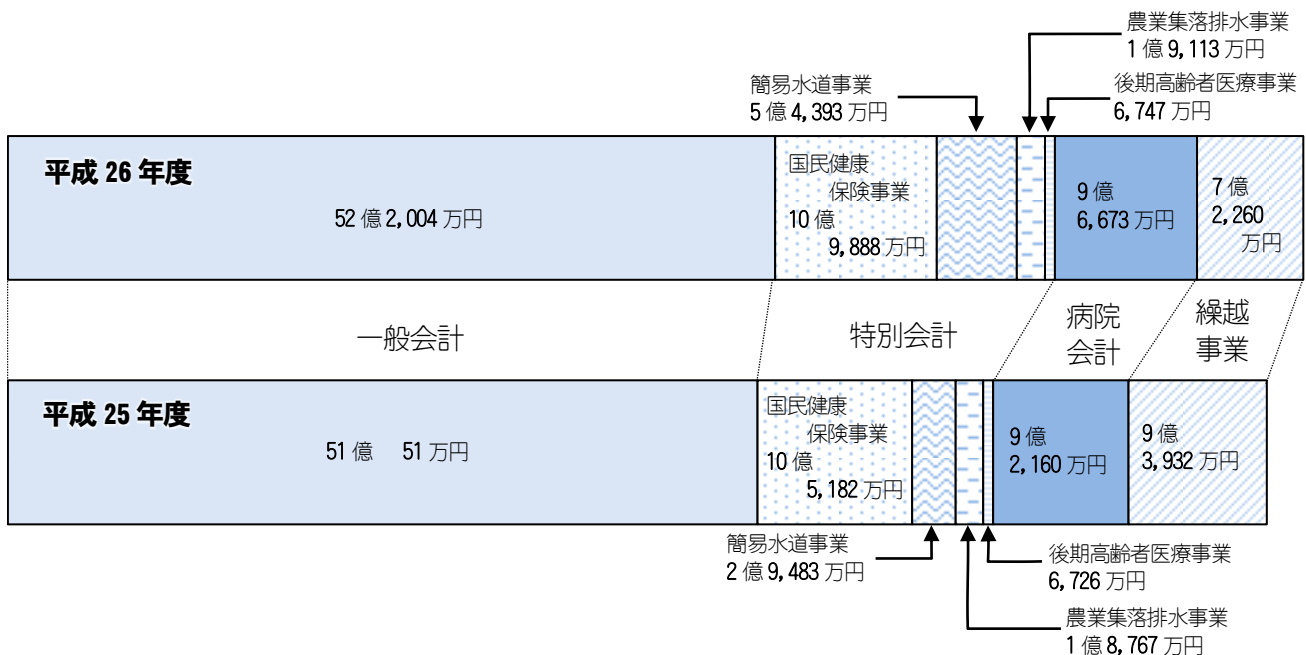
■ 予算額 (平成 25 年度対比)

平成 26 年度の町の予算総額は、80 億 8,818 万円で前年度に比較して 4 億 6,449 万円 (6.1 パーセント) の増となりました。

また、平成 25 年度からの繰越事業 7 億 2,260 万円を加えると総額 88 億 1,078 万円となり、実質 2 億 4,777 万円 (2.9 パーセント) の増となっています。

会 計 名	平成 26 年度	平成 25 年度	増 減 額 (伸率)	
一 般 会 計	52 億 2,004 万円	51 億 51 万円	1 億 1,953 万円 (2.3%)	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	10 億 9,888 万円	10 億 5,182 万円	4,706 万円 (4.5%)
	簡 易 水 道 事 業	5 億 4,393 万円	2 億 9,483 万円	2 億 4,910 万円 (84.5%)
	農 業 集 落 排 水 事 業	1 億 9,113 万円	1 億 8,767 万円	346 万円 (1.8%)
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	6,747 万円	6,726 万円	21 万円 (0.3%)
国民健康保険病院事業会計	9 億 6,673 万円	9 億 2,160 万円	4,513 万円 (4.9%)	
合 計	80 億 8,818 万円	76 億 2,369 万円	4 億 6,449 万円 (6.1%)	
会 計 名	平成 25 年度繰越分	平成 24 年度繰越分	増 減 額 (伸率)	
前年度からの繰越事業	7 億 2,260 万円	9 億 3,932 万円	▲ 2 億 1,672 万円 (▲ 23.1%)	
総 合 計	88 億 1,078 万円	85 億 6,301 万円	2 億 4,777 万円 (2.9%)	

※国民健康保険病院事業会計の予算額は、収益的収支のうち「収入」の総額です。

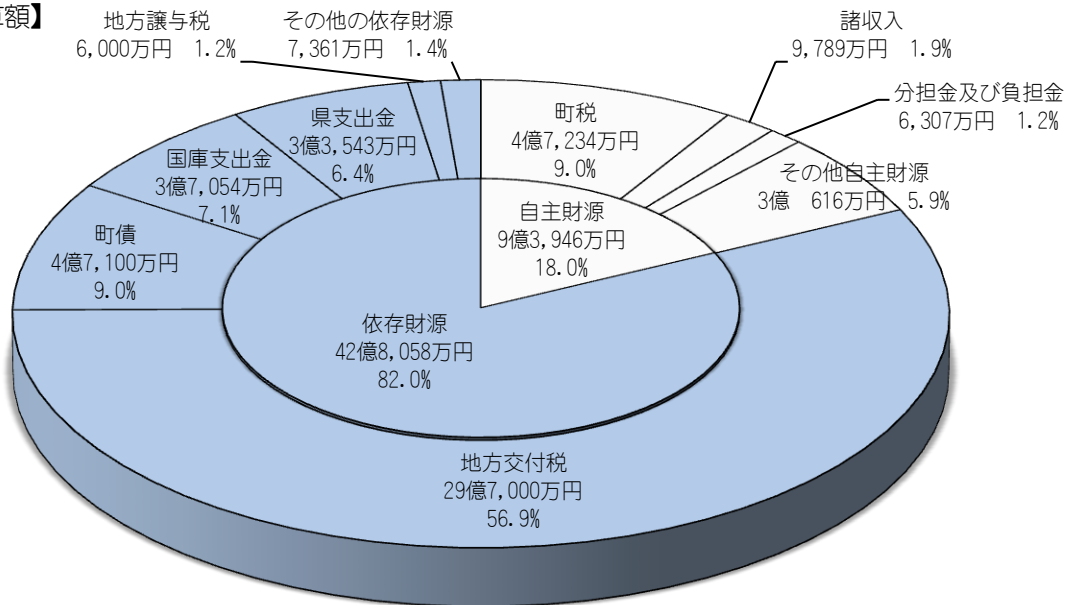


■歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れなど】）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金など】）に分かれます。平成 26 年度予算の自主財源の割合は 18%で、残りの 82%を国や県からの交付金などによって賄っています。

項 目		平成 26 年度予算額 (構成比率)	平成 10 年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	4 億 7,234 万円 (9.0%)	4 億 8,097 万円 (7.2%)	町民の皆さんからの税金
	諸 収 入	9,789 万円 (1.9%)	4,952 万円 (0.8%)	町税等の延滞金や町預金利子等
	分担金及び負担金	6,307 万円 (1.2%)	1 億 4,598 万円 (2.2%)	保育所や老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	3 億 616 万円 (5.9%)	3 億 7,019 万円 (5.5%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	29 億 7,000 万円 (56.9%)	37 億 2,200 万円 (55.7%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	4 億 7,100 万円 (9.0%)	7 億 9,460 万円 (11.9%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	3 億 7,054 万円 (7.1%)	4 億 626 万円 (6.1%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	3 億 3,543 万円 (6.4%)	5 億 4,411 万円 (8.1%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	6,000 万円 (1.2%)	7,240 万円 (1.1%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	7,361 万円 (1.4%)	9,638 万円 (1.4%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		52 億 2,004 万円 (100.0%)	66 億 8,241 万円 (100.0%)	対H10比 14億6,237万円減

【平成 26 年度予算額】



	依存財源		自主財源
H26	依存財源 42.8 億円 (82.0%)		自主財源 9.4 億円 (18.0%)
	うち交付税 29.7 億円 (56.9%)	うち町債 4.7 億円 (9.0%)	
H10	うち交付税 37.2 億円 (55.6%)	うち町債 7.9 億円 (11.8%)	自主財源 10.5 億円 (15.7%)
	依存財源 56.4 億円 (84.3%)		

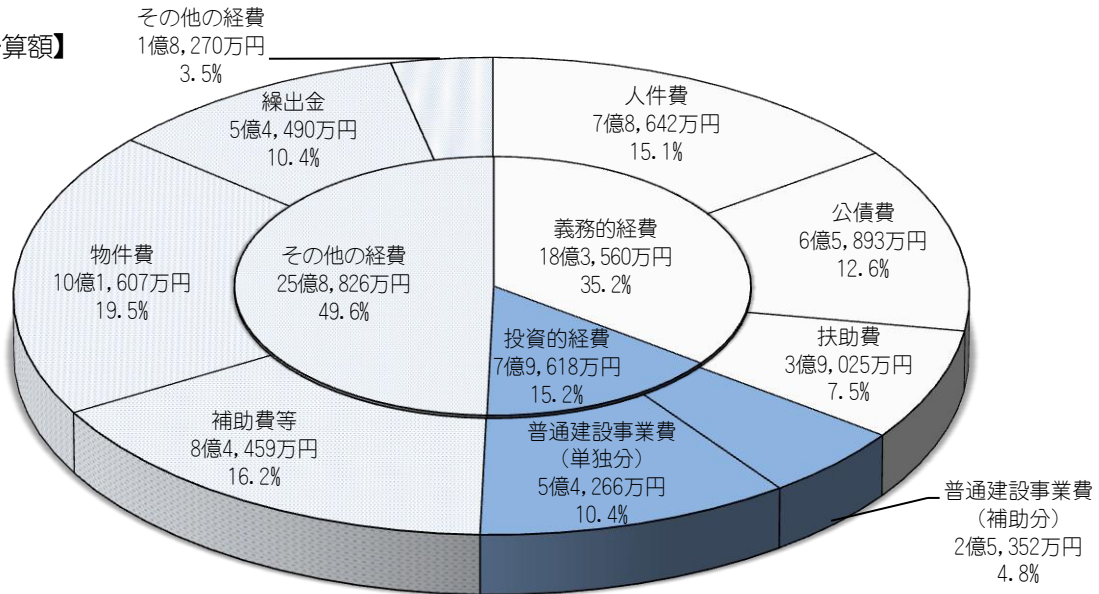
■歳出 (出ていくお金)

●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」と、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		平成 26 年度予算額 (構成比率)	平成 10 年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	7 億 8,642 万円 (15.1%)	13 億 8,228 万円 (20.7%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	6 億 5,893 万円 (12.6%)	11 億 4,495 万円 (17.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	3 億 9,025 万円 (7.5%)	4 億 2,702 万円 (6.4%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補助)	2 億 5,352 万円 (4.8%)	7 億 9,927 万円 (12.0%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施行する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	5 億 4,266 万円 (10.4%)	11 億 251 万円 (16.5%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施行する事業の経費
	災 害 復 旧 事 業	- (-)	- (-)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施行する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	8 億 4,459 万円 (16.2%)	6 億 1,515 万円 (9.2%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	10 億 1,607 万円 (19.5%)	8 億 4,581 万円 (12.6%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	5 億 4,490 万円 (10.4%)	1 億 7,401 万円 (2.6%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	1 億 8,270 万円 (3.5%)	1 億 9,141 万円 (2.9%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		52 億 2,004 万円 (100.0%)	66 億 8,241 万円 (100.0%)	

【平成 26 年度予算額】



●性質別歳出内訳 (平成 26 年度予算と平成 10 年度予算との比較)

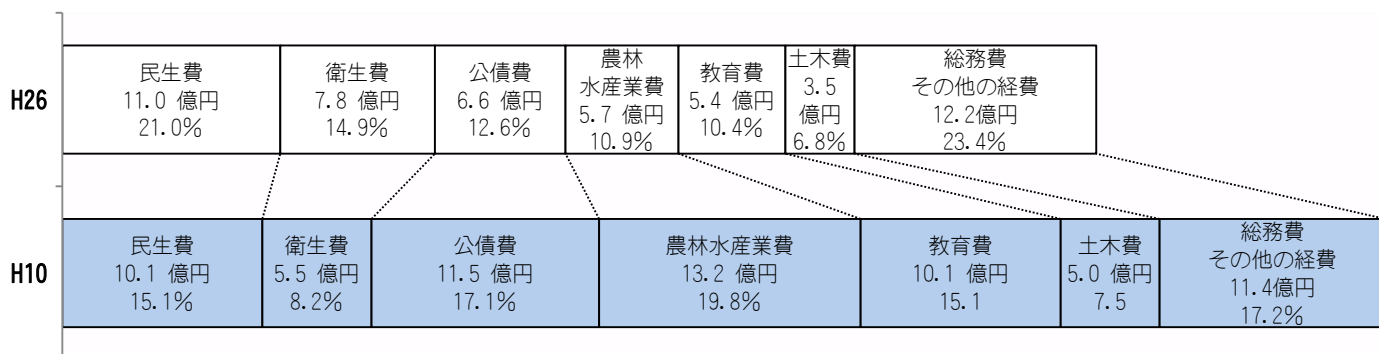
	人件費	公債費	扶助費	投資的経費	補助費等	物件費	その他の経費
H26	7.9 億円 15.1%	6.6 億円 12.6%	3.9 億円 7.5%	8.0 億円 15.2%	8.4 億円 16.2%	10.1 億円 19.5%	7.3 億円 13.9%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	
H10	13.8 億円 20.7%	11.4 億円 17.1%	4.3 億円 6.4%	19.0 億円 28.5%	6.2 億円 9.2%	8.5 億円 12.6%	3.6 億円 5.5%

●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

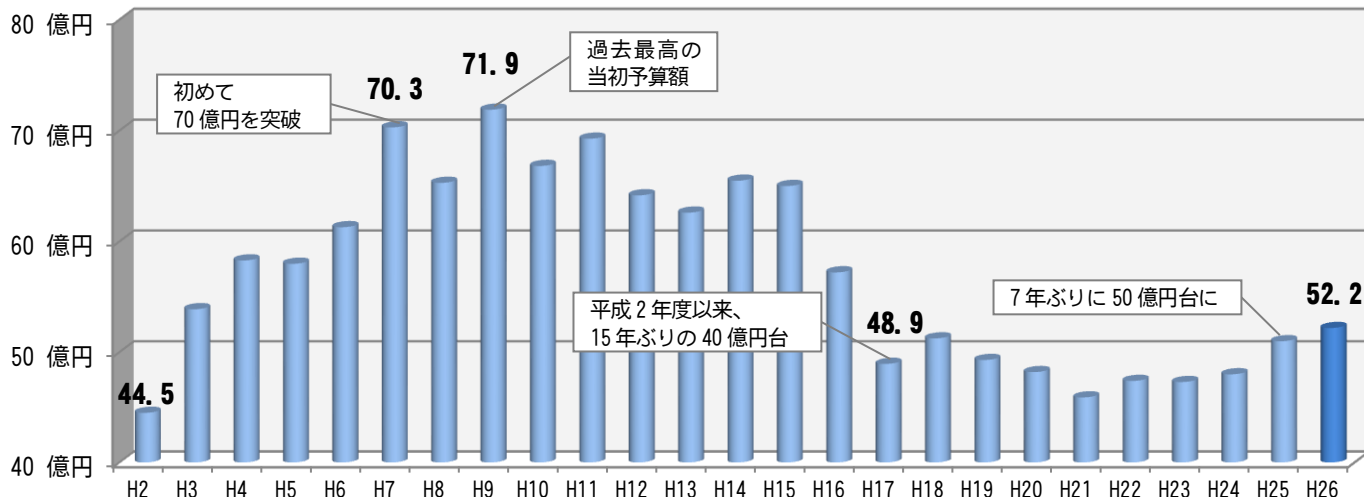
項目	平成26年度予算額(構成比率)	平成10年度予算額(構成比率)	摘要
民生費	10億9,617万円(21.0%)	10億691万円(15.1%)	老人や身障者、保育所の運営など社会保障にかかる経費
総務費	8億903万円(15.5%)	7億140万円(10.5%)	町の財産管理や町税の事務などにかかる経費
衛生費	7億7,795万円(14.9%)	5億4,679万円(8.2%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
公債費	6億5,898万円(12.6%)	11億4,505万円(17.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
農林水産業費	5億6,874万円(10.9%)	13億2,300万円(19.8%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
教育費	5億4,581万円(10.4%)	10億582万円(15.1%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
土木費	3億5,296万円(6.8%)	5億7万円(7.5%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
消防費	2億6,416万円(5.1%)	3億739万円(4.6%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
議会費	6,652万円(1.3%)	1億434万円(1.5%)	議会の運営にかかる経費
その他の経費	7,972万円(1.5%)	4,164万円(0.6%)	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合計	52億2,004万円(100.0%)	66億8,241万円(100.0%)	

●目的別歳出内訳(平成26年度予算と平成10年度予算との比較)



■一般会計当初予算額の推移

平成2年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71億9,000万円を最高に右肩下がりに転じ、平成19年度以降は50億円を割り込む水準となっていました。今年度の当初予算は昨年度に引き続き50億円台となりました。



予算総額の 88 億 1,078 万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

I 安心して暮らせる町 53億8,978万円

1 健康で快適に暮らせるまちづくり 51億 895万円

(1) 保健・医療の充実 29億7,949万円	国民健康保険の充実	12億3,239万円
	医療の確保	16億3,245万円
	健康づくりの推進	1億 348万円
	年金の充実	1,117万円
(2) 福祉の充実 7億8,309万円	高齢者福祉の充実	3億9,860万円
	障がい者福祉の充実	2億7,156万円
	地域福祉の充実	1億 283万円
	母子家庭等の福祉の充実	1,010万円
(3) 子育て環境の充実 2億3,659万円	保育所の充実	1億2,511万円
	児童館の運営など	1,195万円
	児童福祉の充実	9,953万円
(4) 生活環境の整備 11億 978万円	水道施設の整備	6億 547万円
	生活排水処理施設の整備	3億1,293万円
	環境衛生の充実	1億1,672万円
	住宅の整備	7,416万円
	公園の整備	50万円

■ 主な事業と予算

- 食育推進計画に基づき、地域特性を活かした「食育」を推進します。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 各種予防ワクチン接種費用への助成範囲を拡充します。
- 町内全域でうつスクリーニングを実施するとともに、「こころの健康づくり連絡会」と連携し、自殺予防対策を推進します。
- 医療機関等と連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業等を推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。
- 保育所、児童館等の運営について、さらなる充実を図ります。
- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。

● 重点的に実施する事業

【新規】通院バス整備事業

880万円

健康福祉課

広い室内空間や車輦への乗降のためのステップなど、高齢者にやさしい通院バスを整備します。

【事業内容】

- ・通院用マイクロバスの購入
(電動補助ステップ機能付き)



平成 25 年度より地域安心生活支援員を設置・委嘱しています。

【新規】在宅医療介護連携促進事業

1,000万円

健康福祉課

療養者が、住み慣れた自宅で安心して生活し続けることができるように、医師が訪問して診療を行う際に使用する携帯型医療機器を整備します。

【事業内容】

- ・ポータブル超音波診断装置
- ・ポータブルX線装置
- ・携帯型心電計 などの導入

【継続】地域安心生活支援員設置事業

360万円

健康福祉課

高齢者などが地域で安心して暮らすことができるように、昨年度に引き続き、地域安心生活支援員を設置し、地域での見守り活動などを充実します。

【事業内容】

- 支援員数 6人(体育振興会地区ごと)
- 活動内容 ・高齢者などの見守りや訪問
・心配ごとなどの相談や支援

【新規】障害者等通院費助成事業

250万円

健康福祉課

町外の医療機関で治療を受ける必要がある病気や障がいを持つ方に、通院交通費の一部を助成します。

【対象者】

- 葛巻町内に住所のある方で、次のいずれかに当てはまる方
- ①人工透析患者等
- ②精神科通院患者
- ③難病患者

【拡充】くずまキッズ予防事業

200万円

健康福祉課

助成対象となるワクチン接種費用に対し、くずまき商品券で助成を行います。

平成 26 年度は、B 型肝炎ワクチンに対しての助成を拡充しました。

【その他の助成対象ワクチン(助成対象者)】

- ロタワクチン(生後 6 週～24 週又は 32 週)
- おたふく(1 歳～就学前、高校 3 年生)
- みずぼうそう(1 歳～就学前、高校 3 年生)
- 麻しん風しん(高校 3 年生)

【新規】消費増税対策（国庫事業）

① 臨時福祉給付金給付事業

3,950万円

健康福祉課

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者への負担を軽減するため、平成26年度分の町民税の課税及び扶養状況に応じて、臨時福祉給付金を支給します。

【給付額】

○給付対象者1人につき 1万円

○給付対象者で次に該当する方は、5千円を加算します。

- ・ 老齢年金、障害年金、遺族年金等の受給者など
- ・ 児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者など

② 子育て世帯臨時特例給付金給付事業

600万円

住民会計課

消費税率の引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するため、児童手当の受給者に対し、子育て世帯臨時特例給付金を支給します。

【支給対象者】平成26年1月分の児童手当・特例給付の受給者

（臨時福祉給付金対象者は除く）

【給付額】対象児童1人につき 1万円

【拡充】保育料の軽減

186万円（軽減額）

教育委員会

年長児の保育料無料化に続き、世帯第3子以降の入園児の保育料を無料化し、多子世帯への子育て支援の充実を図ります。



園児も毎年連合音楽会に参加

【新規】幼児音楽教室開催事業

154万円

教育委員会

幼児期からの豊かな感性の育成のため、町内保育園に入園している5歳児を対象としたバイオリンの体験学習を実施します。

【継続】葛巻病院建設事業

政策秘書課

2億6,806万円（うち繰越分 1億5,866万円）

町民が将来にわたり継続的かつ安定的な医療を受けることができるよう、国民健康保険葛巻病院の新規建設に向けた基本設計と実施設計等の策定を進めます。

【事業内容】

- ・ 基本設計、実施設計の策定
- ・ 造成設計等

【新規】養護老人ホーム改築事業

150万円

健康福祉課

住み慣れた地域で、健康でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、築40年が経過し老朽化が著しい養護老人ホーム「葛葉荘」の改築に向けた基本設計を進めます。

【事業内容】

- ・ 基本設計の実施

【繰越】子育て支援システム構築事業

463万円

教育委員会

平成27年4月からの、子ども・子育て支援新制度の円滑な施行に向け、子育て支援に関する様々な情報を国と共有する機能を有した電子システムの導入を進めます。

【子ども・子育て支援新制度】

認定こども園の普及や待機児童の解消に取り組む、地域の様々な子育て支援を充実することを目的とした制度。

【繰越】町営小屋瀬住宅整備事業

5,668万円

建設水道課

老朽化の著しい町営小屋瀬住宅の建て替えを行います。

【事業内容】

敷地整備及び環境整備工事

住宅建設工事 木造 6戸

※内訳：1DK 3戸

2DK 3戸

【新規】水洗化普及支援事業

1,850万円

建設水道課

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、水洗化と関連する工事に要する経費の一部を補助金で交付します。

【補助金額】

- ・一般世帯
→補助対象額の1/2、30万円を限度。
- ・高齢者、障害者世帯
→補助対象額の2/3、40万円を限度。

【継続】江刈簡易水道整備事業

3億5,800万円

建設水道課

安全で安定的な水道水を確保するため、江刈簡易水道施設の改良整備を行ないます。

【施工箇所】

- ・荒沢口地区～車門地区
- ・栗山地区
- ・押田内地区
- ・平成25年度施工箇所の舗装復旧
(野中・橋場地区)

● その他の主な事業

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ● 介護保険事業 | 1億7,311万円 (健康福祉課) |
| ● 障がい者自立支援給付事業 | 2億2,760万円 (//) |
| ● 障がい者在宅福祉事業 | 1,057万円 (//) |
| ● 生活習慣病予防事業 | 2,577万円 (//) |
| ● めくもり助成事業 | 600万円 (//) |
| ● 母子保健事業 | 508万円 (//) |
| ● 妊産婦医療費助成事業費 | 200万円 (//) |
| ● 乳幼児・児童生徒医療費助成事業費 | 200万円 (//) |
| ● 高齢者等健康教室実施事業 | 65万円 (//) |
| ● 地域子育て支援事業 | 79万円 (教育委員会) |
| ● 放課後児童保育事業 | 139万円 (//) |
| ● 児童手当支給管理事業 | 7,114万円 (住民会計課) |

2 地域で支え合うまちづくり 2億8,083万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 2億7,409万円

広域消防の充実	1億8,873万円
消防団活動の充実	3,902万円
消防施設の充実	3,461万円
防災対策の充実	1,173万円

(2) 交通、防犯、青少年対策の充実 674万円

交通安全対策の充実	148万円
防犯・青少年対策の充実	526万円

■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 交通安全教育の徹底、交通安全団体の育成、交通事故相談体制の充実を図るとともに、交通安全施設整備の推進に努めます。
- 防犯施設の適正な配置を図るとともに、町民の防犯意識の徹底、自主的な防犯体制の確立、防犯団体の育成に努め、犯罪のない明るい地域社会の形成に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】救助資機材搭載型小型ポンプ積載車整備事業

3,200万円

総務企画課

事故や災害時の人命救助に使用するエンジンカッターやチェーンソー、担架、AED等の資機材を搭載した小型ポンプ積載車を購入し、消防団に配備します。

【事業内容】

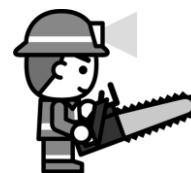
- ・救助資機材搭載型小型ポンプ積載車 2台
→13分団、16分団に配備。

【繰越】災害対策用備品整備事業

993万円

総務企画課

災害発生時における非常用食料や災害対策用備品を収納するための備蓄用倉庫を整備します。



● その他の主な事業

- | | | |
|-----------|-------|---------|
| ● 災害対策経費 | 69万円 | (総務企画課) |
| ● 反射鏡設置事業 | 13万円 | (") |
| ● 防犯灯設置事業 | 100万円 | (") |

II 自然とともに生きる町 6億4,484万円

1 環境を守り育てるまちづくり 1億1,404万円

(1) 自然環境の保全 8万円	自然環境の保全 8万円
(2) 水資源・町土の保全 1,674万円	水資源・町土の保全 33万円 砂防施設の管理等 1,641万円
(3) 地域エネルギーの活用 9,722万円	新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発 9,080万円 新エネルギー施設の管理等 642万円

■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組みます。
- 新エネルギー等の導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】次世代型電気自動車充電インフラ等整備事業

890万円 農林環境エネルギー課

次世代型自動車（EV・PHV）の利便性向上と普及促進を図るため、充電スタンド等の整備を行います。

【事業内容】

- ・電気自動車（1台）
- ・急速充電器（1台） ※役場前駐車場

【新規】自立・分散型エネルギー供給システム整備事業

1,700万円 農林環境エネルギー課

非常時において、役場庁舎や病院等の防災拠点施設に必要最低限のエネルギーを供給することが可能な設備の導入に向けた設計を行います。

【事業内容】

- ・設備導入に向けた設計業務

【新規】森の館ウッディペレットボイラー更新事業

1,980万円 農林環境エネルギー課

老朽化が著しい森の館ウッディのペレットボイラーの更新を行います。

【事業内容】

- ・ペレットボイラー 1台（25万kcal）

【繰越】公共施設再生可能エネルギー等導入事業

3,660万円 農林環境エネルギー課

避難所に指定されている公共施設に、停電時でも必要最低限の電力供給ができるよう、再生可能エネルギー設備等を導入します。

【事業内容】

- 対象施設：吉ヶ沢小学校
- 導入設備：太陽光発電、蓄電池

2 地域資源を生かした産業を推進するまちづくり 5億3,080万円

(1) 農業の振興 3億5,970万円	畜産振興 農業振興 農業施設等の整備	2億2,927万円 8,929万円 4,114万円
(2) 林業の振興 1億 600万円	林業振興	1億 600万円
(3) 農林産物加工の振興 392万円	加工施設等の充実	392万円
(4) 商工業の振興 4,215万円	商工業の振興	4,215万円
(5) 観光の振興 693万円	観光の振興 観光施設等の充実	653万円 40万円
(6) 雇用機会の確保 1,210万円	雇用機会の確保	1,210万円

■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。
- 商工業振興では、まちなか活性化協議会と連携しながら、四季を通じてイベントを開催するなど活性化を図るとともに、持続的な経営の支援を行います。

● 重点的に実施する事業

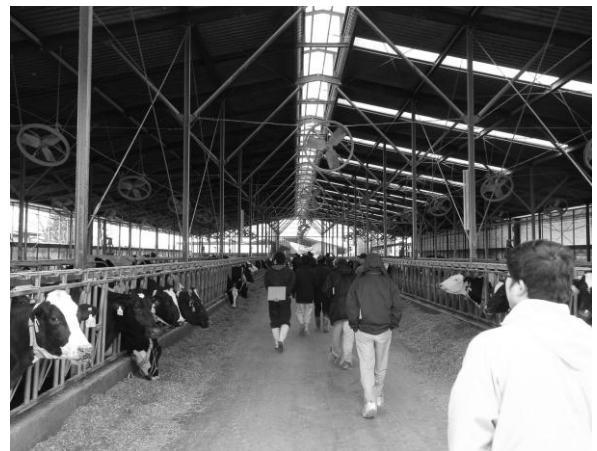
【新規】新くずまき型畜産体制構築事業

200万円 農林環境エネルギー課

東北一の酪農郷・葛巻の今後の酪農生産体制を考え、モデル牧場を核とした新しい「くずまき型」の酪農を目指します。

【事業内容】

- ・酪農経営セミナー
- ・北海道酪農先進地視察研修
- ・新くずまき型酪農構想プロジェクトの策定



事業促進のため、酪農先進地の視察も積極的に行っています。

【新規】育成牛預託助成事業

600万円 農林環境エネルギー課

町内の酪農家の(一社)葛巻町畜産開発公社への育成牛預託を促進することで、酪農経営の機能分担方式の推進を図ります。

【事業内容】

町内の酪農家が(一社)葛巻町畜産開発公社へ育成牛を預託する場合、1頭につき100円/日を助成。

【繰越】森林学習集合施設等整備事業

3,905万円 農林環境エネルギー課

森林の有する機能や木材利用の意義等に対する理解と関心を高める森林環境教育等を推進するため、平庭町有林内に森林体験学習や林内散策等のための森林フィールド活動拠点を整備します。

【事業内容】

- ・ 休憩施設 (兼森林学習集合施設)
- ・ 標識類
- ・ 駐車場

【拡充】商店等設備更新支援事業

600万円 総務企画課

町民の日常生活に必要な地域の商店や飲食店等の持続的な経営の支援を行い、住民の安心・安全と町内経済の活性化を図ることを目的に、商店等の設備更新に要する経費の一部を助成します。

【事業内容】

小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業を町内で10年以上営む個人や資本金1,000万円以下の法人が、10万円以上の機器等の更新を行う場合に、対象経費の2/3を助成。

【継続】快適な住まいづくり応援事業

750万円 総務企画課

住宅関連産業の振興と地域経済の活性化を図るとともに、町民の居住環境の向上を目的に、住宅改修工事に係る経費の一部を助成します。

【事業内容】

建築後5年以上経過した自己の居住用住宅の改修工事(30万円以上)を町内業者が施工する場合、15万円を限度にくずまき商品券で助成。

● その他の主な事業

- 粗飼料生産基盤除染対策事業 1億4,000万円 (農林環境エネルギー課)
- 草地畜産基盤整備事業 1,747万円 (")
- 町産材利用促進事業 300万円 (")
- 林業担い手育成支援事業 96万円 (")
- 造林、再造林等事業 1,216万円 (")
- 森林保全特別対策事業 1,726万円 (")
- 町農業後継者等パートナー事業 30万円 (農業委員会事務局)
- 中山間地域総合整備事業 1,970万円 (建設水道課)
- 中心市街地整備事業 280万円 (政策秘書課)
- くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 450万円 (総務企画課)
- 雇用促進奨励金(若者・高齢者) 1,200万円 (")

III 人・文化・交流で元気になる町 12億8,737万円

1 人と文化を育むまちづくり 5億7,792万円

(1) 教育の充実 2億4,475万円	小中学校教育の充実 2億3,027万円 学校保健の充実 566万円 高等学校教育の充実 882万円
(2) 生涯学習の充実 4,905万円	生涯学習環境の整備 3,793万円 年代別学習の推進 1,112万円
(3) 生涯スポーツ・ レクリエーションの推進 2億8,319万円	生涯スポーツ・レクリエーションの充実 2億1,500万円 体育施設等の管理 6,819万円
(4) 地域文化の創造 93万円	地域文化の創造 93万円

■ 主な事業と予算

- 保育園、小学校の連携を一層促進し、就学前の子どもの成長を支えるとともに、小学校への円滑な就学を図ります。
- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を生かした教育を推進します。また、安全安心な教育環境の構築のため、学校施設等の整備に努めます。
- 総合運動公園の各種設備の整備・改修など、いわて国体の開催に向けた準備を進めます。
- 生涯学習では、勝正弘作品展の開催など、町民が芸術にふれる機会を増やすことで、生涯学習の効果的な推進に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】総合運動公園改修事業

1億8,000万円

教育委員会

平成5年に整備した総合運動公園の多目的グラウンドを、陸上トラック走路の全天候型舗装、インフィールドの人工芝化、夜間照明の整備など、平成27年7月完成を目指して全面的な改修に取り組みます。

【整備内容】

- ・陸上走路8レーン：全天候型トラック
- ・一般用サッカー競技1面：人工芝化

【新規】江刈小校舎改築事業

150万円

教育委員会

昭和38年に建設され築50年を経過している江刈小学校校舎の改築に向けた基本設計を実施します。

【事業内容】

- ・基本設計の実施

**【新規】社会体育館バスケットゴール
整備事業**

1,550万円

教育委員会

老朽化した社会体育館のバスケットゴール
4台(2対)を更新します。

【整備内容】

- ・移動式電動アクチュエータ駆動方式
バスケット台 4台(2対)

【継続】小中学校校舎等耐震補強事業

1,120万円

教育委員会

学校は児童生徒の学びの場であるとともに、
災害時には住民の避難場所としての役割を
担うことから、校舎や屋内運動場の耐震補強
工事を進め、安心して学べる環境づくりに努
めます。

【実施施設】

- ・小屋瀬小学校(校舎)の設計
- ・江刈中学校(校舎・屋内運動場)の設計

【新規】生涯スポーツ関係各種事業費

100万円

教育委員会

① 体育振興会30周年・チャレンジデー
20回記念事業 50万円

30周年を迎える町民体育大会とチャレンジ
デー参加20年を記念して、スポーツ特別講演会
を実施するとともに、小中学生を対象としたス
ポーツ特別教室(夏季・冬季)を開催します。

② いわて国体開催実行委員会補助金
50万円

平成28年開催の「希望郷いわて国体」の実施
に向け実行委員会を立ち上げ、周知活動や先進
地視察など、開催に向けた準備を進めます。

【新規】生涯学習関係各種事業費

230万円

教育委員会

① 勝正弘作品展開催事業

200万円

町民に、作品鑑賞を通じて芸術文化とふれあ
い、豊かな情操と感性を高める機会を提供する
ため、本町出身の漆芸家、勝正弘先生の優れた
芸術作品展を開催します。

② 町文化協会40周年記念誌作成事業費
補助金 30万円

町文化協会の設立40周年を記念し、これまで
の活動を取りまとめた記念誌発行のための助成
を行います。

● **その他の主な事業**

●学力向上推進員設置事業	539万円	(教育委員会)
●心の教室相談員設置事業	96万円	(")
●特別支援教育支援員設置事業	305万円	(")
●社会人特別講師派遣費支援事業	20万円	(")
●文化財保護事業	77万円	(")
●放課後子ども教室推進事業	90万円	(")
●社会体育館耐震補強事業(繰越)	2,211万円	(")
●社会体育館屋根改修事業(繰越)	201万円	(")

2 交流を広げ、誇りを持って情報発信するまちづくり 7億1,252万円

(1) 交通・通信ネットワーク
の整備 6億 547万円

道路交通網の整備 5億3,248万円
バス交通対策の推進 1,585万円
地域情報化の推進 5,714万円

(2) 交流・連携の推進
1億 398万円

交流・連携の推進 1億 398万円

■ 主な事業と予算

- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】定住促進住宅整備事業

1億円

総務企画課

町への移住者・定住者や地場産業の後継者など地域を支える人材の育成と確保を図るために定住促進住宅を整備します。

【事業内容】

- ・定住促進住宅 10棟

【継続】バス路線運行拡大支援対策事業

1,300万円

総務企画課

路線バスの利便性の向上と利用者の負担軽減を図るため、乗合バス事業者や利用者に対して助成を行うことで生活交通ネットワークの維持を図ります。

【事業内容】

- ・冬部、江刈馬淵方面の路線本数を各2往復増便
- ・町内での乗降に限り全区間一律100円での利用が可能（ただし、JRバス白樺号及び県北バス路線については、精算払い方式）

【継続】定住対策補助金事業

308万円

総務企画課

① 若者定住奨励金（15万円／世帯）

Uターン者で満18歳以上満45歳未満の家族がいる世帯に対して奨励金を交付します。

② 土地取得助成金（30万円／世帯）

移住者が、定住（住宅建築）目的で1,000㎡以上の土地を取得した場合に助成金を交付します。

③ 新婚ライフサポート金（10万円／組）

婚姻届出時に、夫婦ともに町内に住所を有する45歳未満の定住する意志がある夫婦に対してサポート金を交付します。

【新規】地域情報通信基盤施設改修事業

960万円

総務企画課

BSデジタル放送のチャンネル数増加に伴い、放送再送信のために必要な設備の導入とケーブルテレビにおけるラジオ放送再送信のための受信環境改善に必要な調査・工事・設備改修を実施します。

【事業内容】

- ・BSデジタル放送のチャンネル増加：4チャンネル分（WOWOW、スターチャンネル）
- ・ラジオ設備の受電方法の変更・受信点設置場所の変更

【新規】除雪機械整備事業

3,200万円

建設水道課

降雪の際に、生活道路・流通道路等の早期除雪を行うため、除雪機械の増強を図り、住民生活の安全・安心を確保します。

【事業内容】

- ・除雪ドーザ 1台
- ・ホイールローダ 1台



冬の働きものは子ども達にも大人気！

【繰越】除雪機械格納庫整備事業

1億3,946万円

建設水道課

除雪機械の保全と延命を図るため、除雪機械全車両を格納できる格納庫の整備を行います。

【事業内容】

- ・除雪機械格納庫 1棟

【新規】町道葛巻浦子内線道路改良事業

1,000万円

建設水道課

町中心部と浦子内地区を結ぶ唯一の路線で交通量も多いことから、道路の拡幅を行い車両や歩行者の安全確保を図ります。

【事業内容】

- ・測量設計業務委託

【新規】町道寺沢線道路改良事業

2,200万円

建設水道課

道路幅が狭い砂利道であることから、道路の拡幅を行い、車両や歩行者の安全確保を図ります。

【事業内容】

- ・道路拡幅工事

【新規】町道町裏線道路改良事業

300万円

建設水道課

老朽化が進んでいる町道町裏線の流雪溝の改修を行い、排雪機能の向上を図ることで、車両の走行や歩行者の安全を確保します。

【事業内容】

- ・測量設計業務委託

【継続】 町道茶屋場田子線道路改良事業
建設水道課
1億1,928万円(うち繰越分 1,928万円)

町中心部は有事により国道が通行不能となった場合の代替道路がないことから、バイパス的機能を備えた市街地環状道路として、茶屋場交差点から役場裏までの馬淵川堤防を拡幅整備し、市街地の混雑解消と中心部の防災対策を図ります。

【事業内容】

- ・ 用地取得
- ・ 物件移転補償

【繰越】 町道宝積寺線道路改良事業
建設水道課
1,352万円

火葬場付近は、急勾配で冬期間スリップによる交通障害が数多く発生していることから、安全な走行を確保するための改修を行います。

【事業内容】

- ・ 融雪システムの設置
- ・ 路面修繕

【拡充】 町道維持修繕事業

2,500万円 建設水道課

町道の痛みの激しい路線を中心に修繕工事を行い、安心・安全な道路環境を整え、道路施設の長寿命化を図ります。



町道の修繕工事の様子

【継続】 橋りょう維持修繕事業
建設水道課
1,575万円(うち繰越分 700万円)

平成21年度に策定した橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕事業で、橋りょう本体の延命を図り、将来予測される膨大な修繕費コストを軽減するため、毎年2橋程度の計画的修繕を行います。

【事業内容】

- ・ 袖山口橋及び五葉窪橋の調査、修繕

【繰越】 道路施設総点検事業
建設水道課
2,200万円

緊急性の高い修繕箇所が発見及び計画的な修繕ができるよう、町内の道路施設の点検を行います。

【事業内容】

- ・ 点検業務

● **その他の主な事業**

- 広域生活バス路線運行維持対策 285万円 (総務企画課)
- ICT(情報通信技術)利活用システム構築事業 100万円 (“)

IV 幸せ実感の仕組みづくり 8,112万円

1 協働のまちづくり 8,112万円

(1) 住民参画の推進 995万円	住民参画の推進 995万円
(2) 行政情報の共有 4,376万円	行政情報の共有 4,376万円
(3) 地区(集落)単位のまちづくり 2,713万円	自治会活動の充実 2,713万円
(4) 男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会の推進
(5) 各種地域組織の活動支援 28万円	各種地域組織の活動支援 28万円

■ 主な事業と予算

- 様々な行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民のみなさんから参画していただき、町民と行政とが協働してまちづくりに取り組むことを推進します。

● 重点的に実施する事業

【継続】人と環境に優しいコミュニティ拠点づくり事業

788万円 総務企画課

安全・安心のまちづくりと環境に配慮した取り組みをより一層推進するため、コミュニティ施設の高機能化に向けた改修等を実施する自治会等に対して、補助金を交付します。

【助成対象】

- ・ 太陽光発電設備の導入
- ・ トイレの水洗化改修
- ・ 入浴施設等設備の増設

【継続】協働のまちづくり事業費補助金

660万円 総務企画課

地域の特性を生かした個性的な事業を行い、潤いのある地域づくりを推進するため、4つのメニューにより自治会等が実施する各種事業の経費の一部を助成します。

【事業内容】

- ・ 結いの再生
- ・ 協働のまちづくり
- ・ コミュニティ活性化
- ・ 特認基盤整備

● その他の主な事業

● 自治会活動交付金	1,925万円	(総務企画課)
● 私道整備助成	100万円	(")
● 広報発行事業	350万円	(")

V その他の行政業務 14億 768万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済などで、総合計画の体系に分類できない業務 14億 768万円

公債費	6億5,898万円
総務、企画、統計	4億2,357万円
税務、戸籍	5,941万円
議会、選挙、監査	6,832万円
その他	1億9,740万円

●重点的に実施する事業

【新規】研修用バス整備事業

3,300万円

総務企画課

町内各種団体の研修や来町者等の送迎に使用する中型バスを整備します。

【繰越】公共土木施設災害復旧事業 (25年台風災害)

8,971万円

建設水道課

平成25年9月の台風18号により被災した道路や河川の復旧工事を実施します。

【事業内容】

・河川12箇所、道路14箇所の災害復旧工事

平成25年度から平成26年度に繰り越して実施する事業

	事業名	事業費	完成見込
繰越明許	馬淵川簡易水道改修事業(簡易水道事業会計)	601万円	5月
	町道宝積寺線道路改良事業	1,352万円	6月
	橋りょう維持修繕事業	875万円	7月
	災害対策用備品整備事業	993万円	7月
	社会体育館屋根改修事業	201万円	8月
	林業施設災害復旧事業	1,430万円	8月
	役場庁舎電気設備改修事業	870万円	9月
	子育て支援システム構築事業	463万円	9月
	公共施設再生可能エネルギー等導入事業	3,660万円	10月
	葛巻病院建設事業(基本設計等)	15,866万円	10月
	道路施設総点検事業	2,200万円	11月
	森林学習集合施設等整備事業	3,905万円	12月
	町道茶屋場田子線道路改良事業	1,928万円	12月
	公共土木施設災害復旧事業(25年台風災害)	8,971万円	12月
	除雪機械格納庫整備事業	13,946万円	27年2月
	町勢要覧作成事業	320万円	27年3月
事故繰越	社会体育館耐震補強工事	2,211万円	5月
	町道坂待屋鷹ノ巣線外3路線舗装打換工事	1,057万円	6月
	町営小屋瀬住宅整備工事	5,668万円	7月
	公共土木施設災害復旧事業(24年凍上災害)	5,744万円	9月
繰越事業費 計		7億2,260万円	

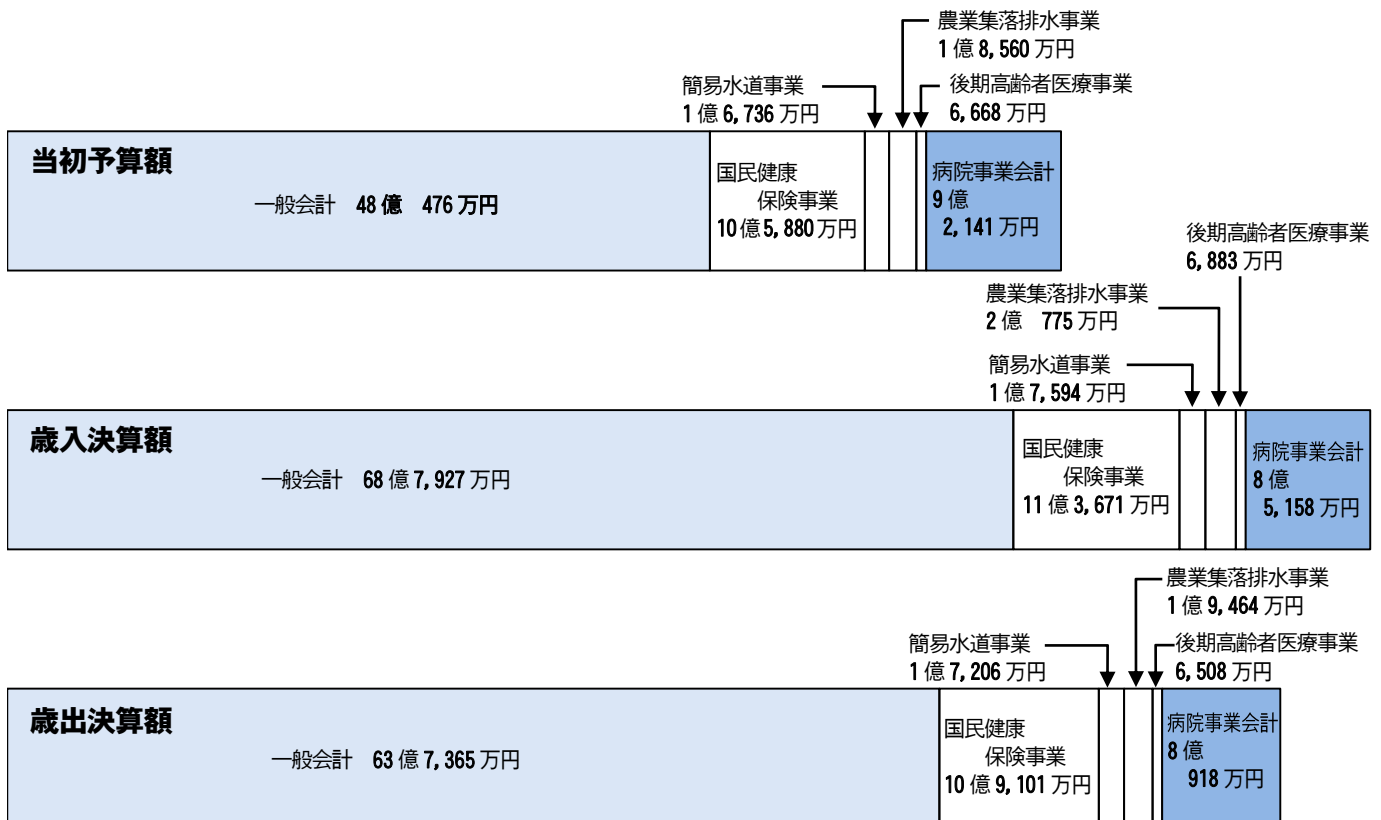
平成24年度 まちの 決算 の状況

■歳入歳出決算額

平成24年度の町の決算総額は、歳入総額93億2,008万円に対し、歳出総額87億562万円で、歳入歳出差引額は6億1,446万円（実質収支等は5億1,222万円）となっています。

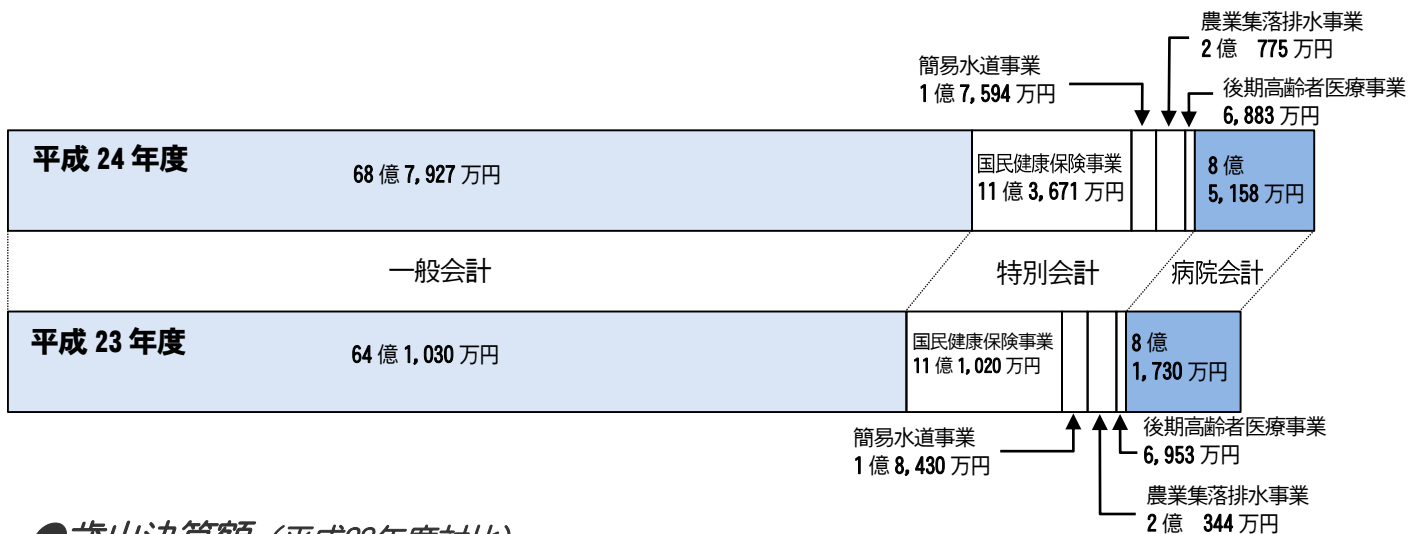
また、歳入総額を前年度と比較すると、5億2,501万円（6.0パーセント）の増、歳出総額を前年度と比較すると、5億2,427万円（6.4パーセント）の増となっています。

会計名	平成24年度 当初予算額	平成24年度 歳入決算額	平成24年度 歳出決算額	歳入歳出差引額	
一般会計	48億 476万円	68億 7,927万円	63億 7,365万円	5億 562万円	
特別会計	国民健康保険事業勘定	10億 5,880万円	11億 3,671万円	10億 9,101万円	4,570万円
	簡易水道事業	1億 6,736万円	1億 7,594万円	1億 7,206万円	388万円
	農業集落排水事業	1億 8,560万円	2億 775万円	1億 9,464万円	1,311万円
	後期高齢者医療事業	6,668万円	6,883万円	6,508万円	375万円
国民健康保険病院事業会計	9億 2,141万円	8億 5,158万円	8億 918万円	4,240万円	
合計	72億 461万円	93億 2,008万円	87億 562万円	6億 1,446万円	



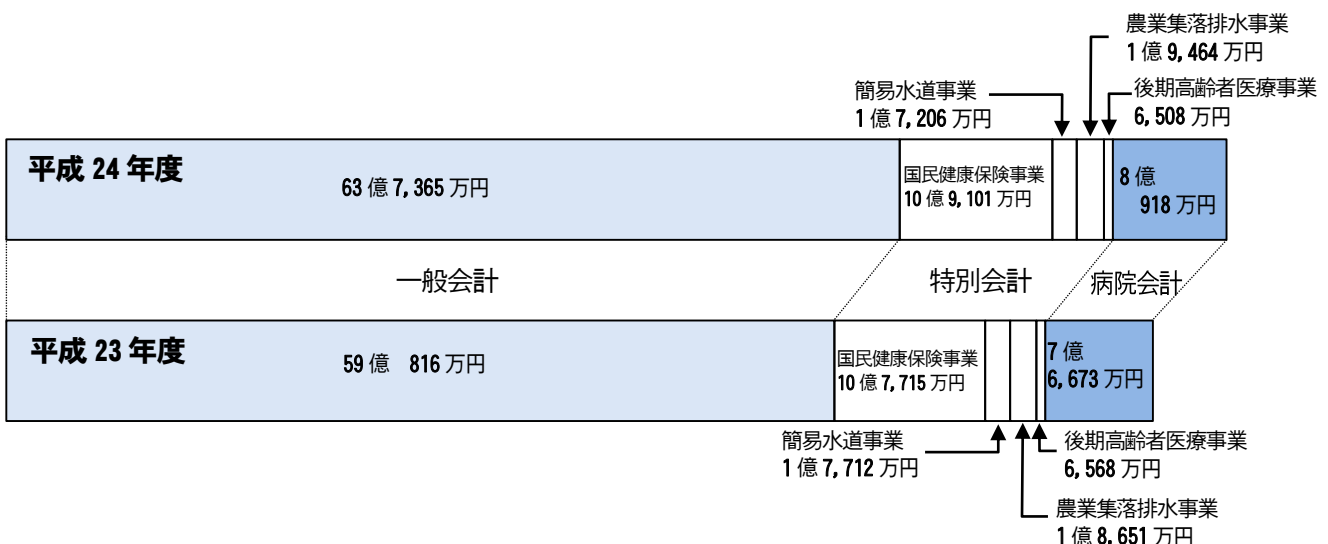
●歳入決算額 (平成23年度対比)

会計名	平成24年度	平成23年度	増減額(伸率)	
一般会計	68億7,927万円	64億1,030万円	4億6,897万円(7.3%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億3,671万円	11億1,020万円	2,651万円(2.4%)
	簡易水道事業	1億7,594万円	1億8,430万円	▲836万円(▲4.5%)
	農業集落排水事業	2億775万円	2億344万円	431万円(2.1%)
	後期高齢者医療事業	6,883万円	6,953万円	▲70万円(▲1.0%)
国民健康保険病院事業会計	8億5,158万円	8億1,730万円	3,428万円(4.2%)	
合計	93億2,008万円	87億9,507万円	5億2,501万円(6.0%)	



●歳出決算額 (平成23年度対比)

会計名	平成24年度	平成23年度	増減額(伸率)	
一般会計	63億7,365万円	59億816万円	4億6,549万円(7.9%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	10億9,101万円	10億7,715万円	1,386万円(1.3%)
	簡易水道事業	1億7,206万円	1億7,712万円	▲506万円(▲2.9%)
	農業集落排水事業	1億9,464万円	1億8,651万円	813万円(4.4%)
	後期高齢者医療事業	6,508万円	6,568万円	▲60万円(▲0.9%)
国民健康保険病院事業会計	8億918万円	7億6,673万円	4,245万円(5.5%)	
合計	87億562万円	81億8,135万円	5億2,427万円(6.4%)	

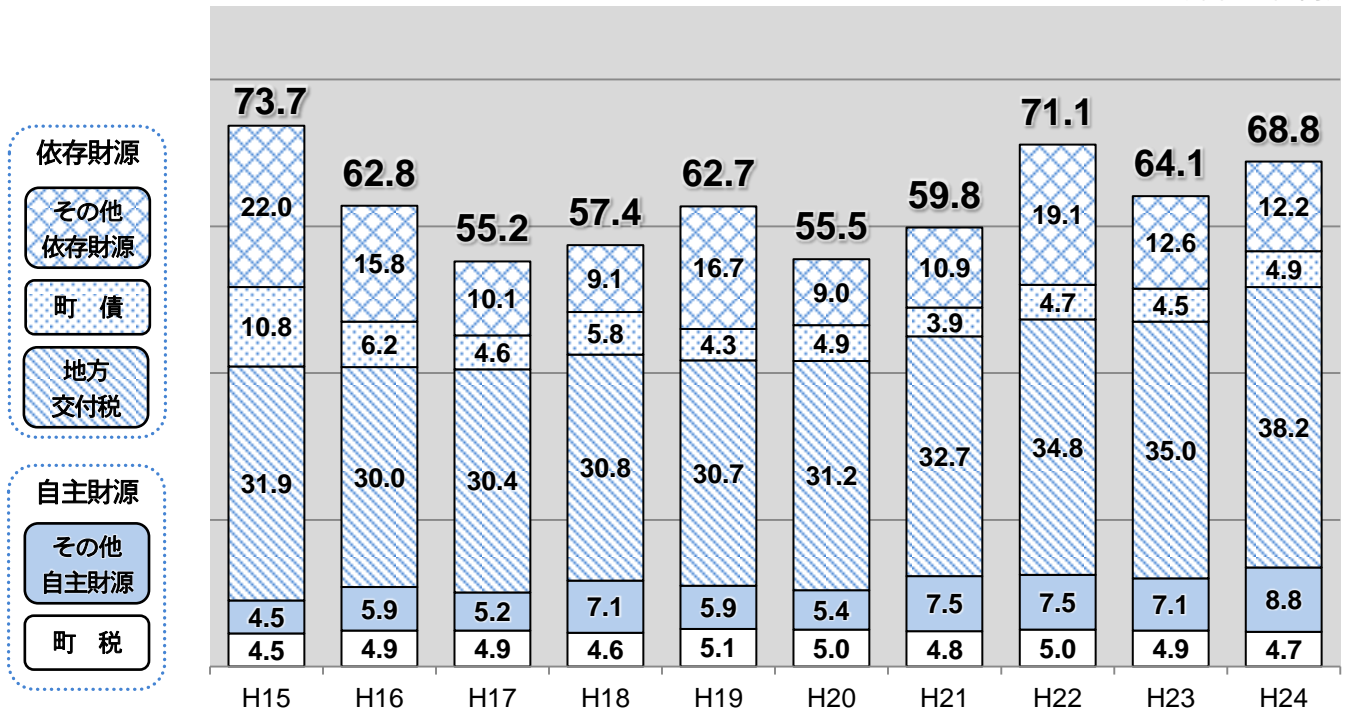


■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成24年度の町の一般会計決算額は、歳入が68億7,927万円（前年度比4億6,897万円、7.3パーセント増）、歳出が63億7,365万円（前年度比4億6,549万円、7.9パーセント減）となり、歳入歳出差引額は5億562万円（前年度比348万円、0.7パーセント増）の黒字となっています。

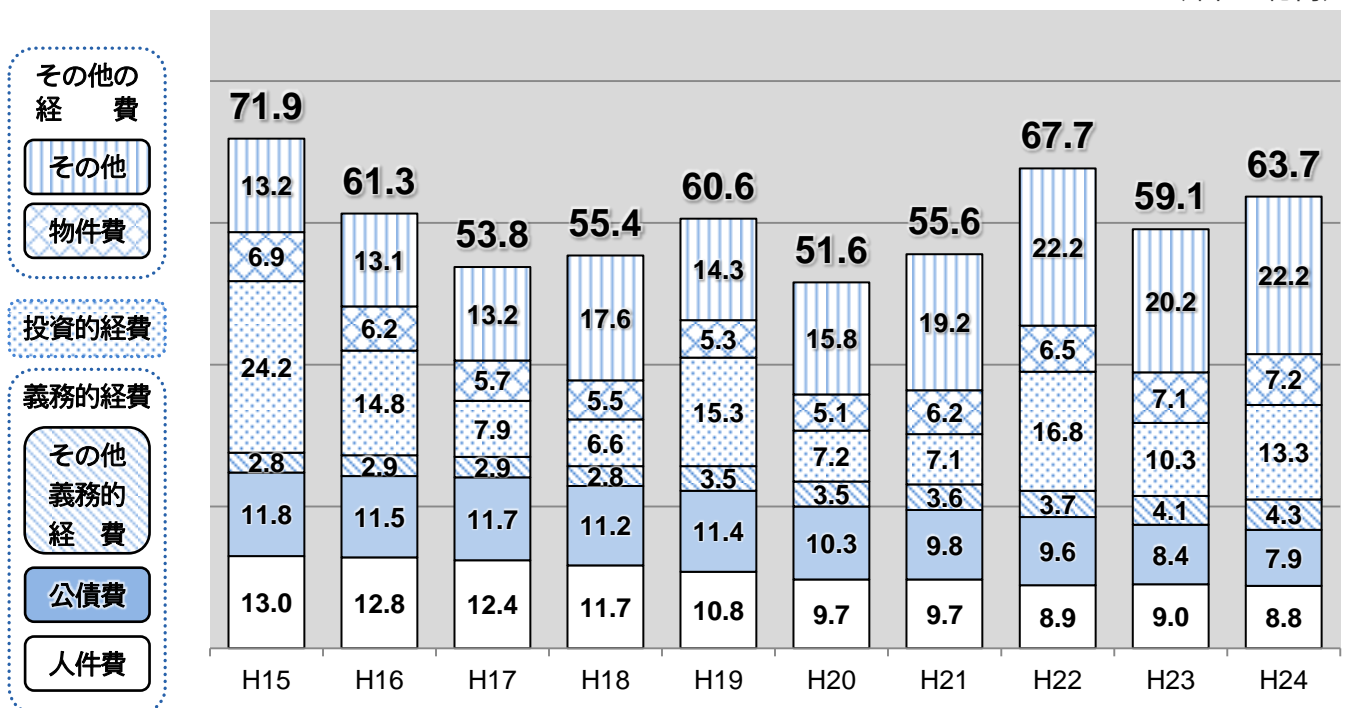
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

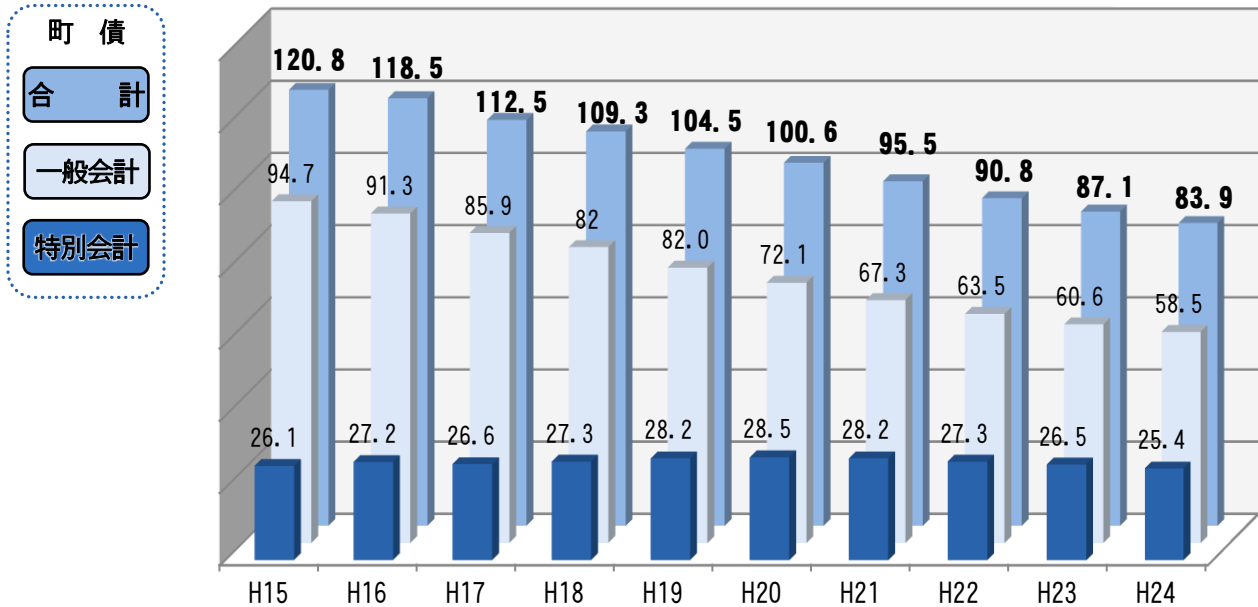
（単位：億円）



■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。特別会計の残高はほぼ横ばいとなっていますが、一般会計では平成23年度に比べ2億1,473万円(3.5パーセント)の減、平成14年度と比べると35億1,641万円(37.6%)の減となり、町債借入残高を削減する取り組みの成果が表れています。

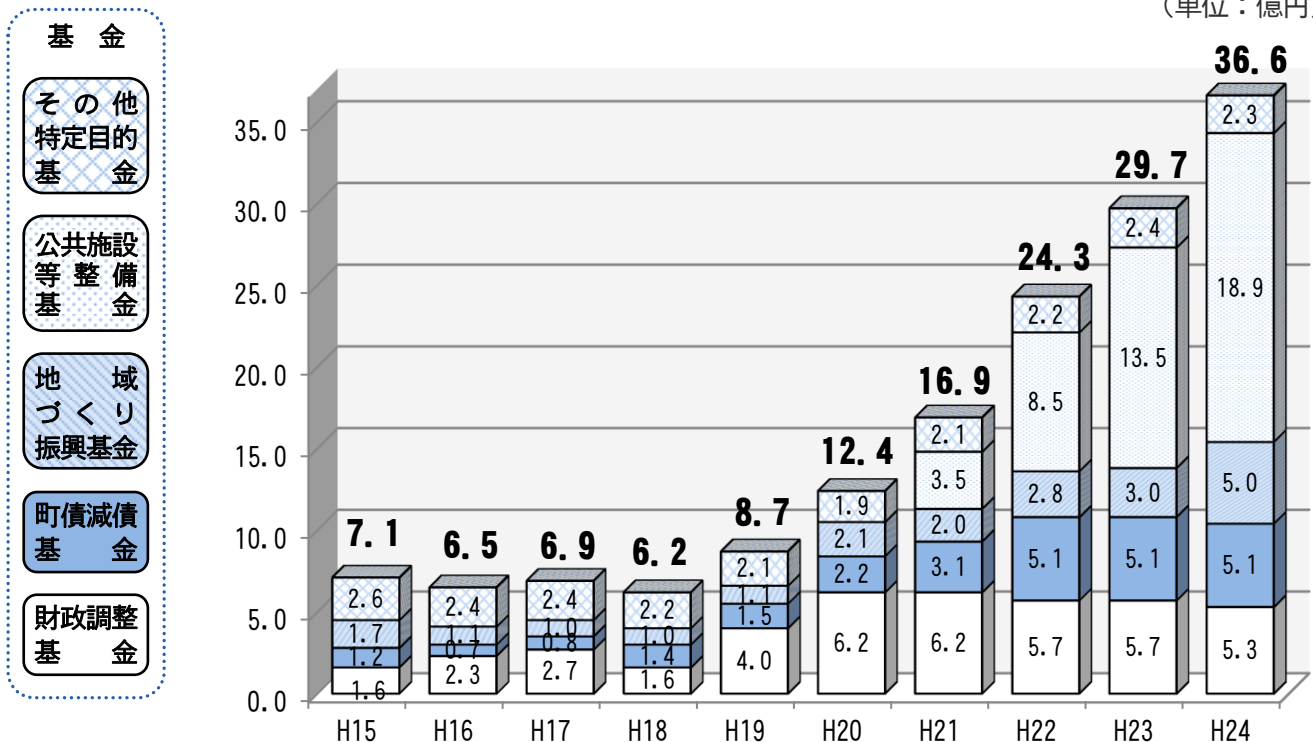
(単位：億円)



■基金残高の推移

町の貯金である基金の平成24年度末の残高総額は36億5,870万円で、前年度に比較して6億8,494万円(23.0パーセント)の増となりました。積み立てた基金は、今後増大が見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

(単位：億円)



■まちの財政の状況

●財政指標

	平成24年度 決算 A	平成23年度 決算 B	差引 (A-B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	9.4 %	11.1 %	▲ 1.7	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	12.6 %	▲ 12.6	350.0 %	
財政力指数	0.14	0.15	▲ 0.01		
経常収支比率	83.9 %	85.7 %	▲ 1.8		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成24年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

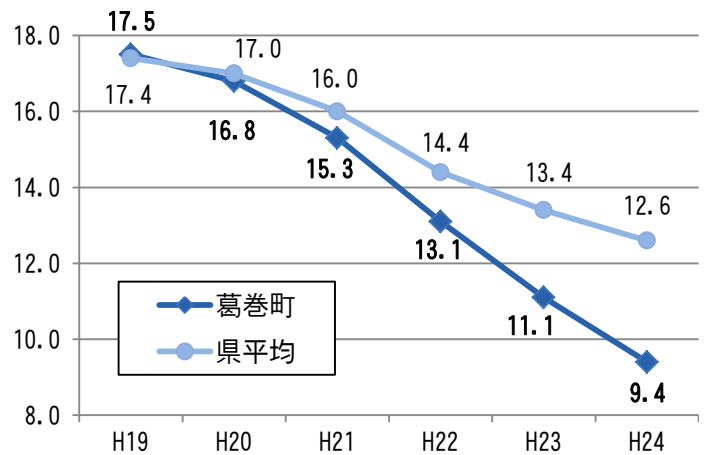
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成24年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

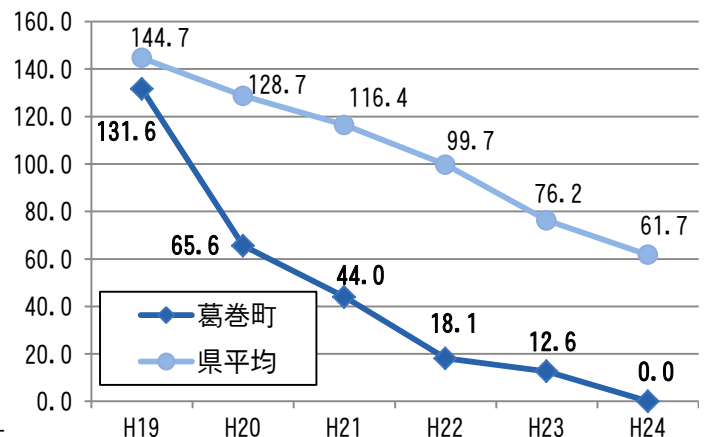
町の平成24年度における実質公債費比率は9.4%で、前年度と比較して1.7ポイント低くなっています。



■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成24年度における将来負担比率は0.0%となりました。



■財政力指数

財政力（※1）の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

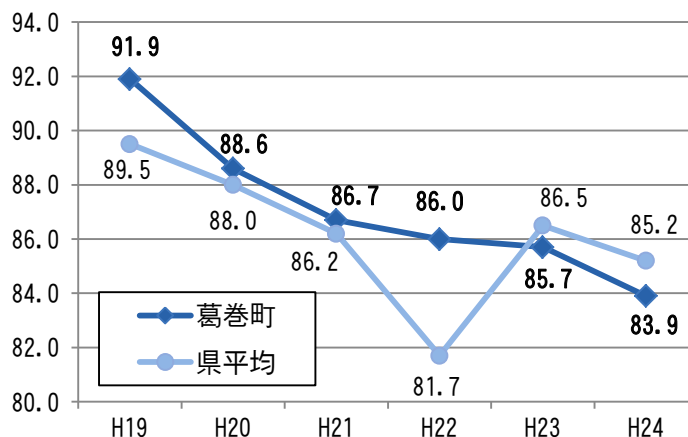
町の平成24年度の財政力指数は0.14で、前年度を0.1ポイント下回りました。

- ※1 財政力 … 基準財政収入額（※2）の基準財政需要額（※3）に対する割合
- ※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるのであらうと考えられる税収入
- ※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

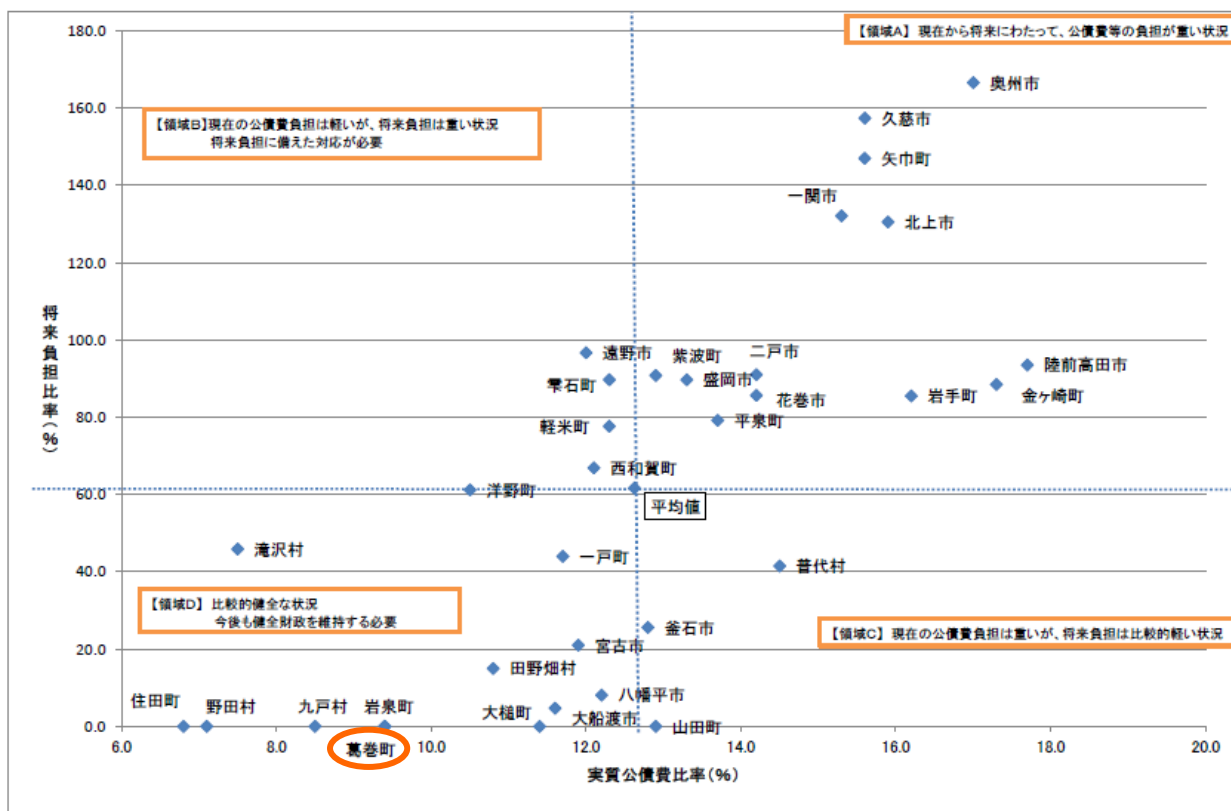
町の平成24年度の経常収支比率は83.9パーセントで、前年度と比較して1.8ポイント改善しています。



●平成24年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成24年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

表の左下に位置するほど、より財政運営の健全化が図られていると言えることから、当町は県内市町村の中でも健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成24年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域行政事務組合	5,472	5,439	33	30
盛岡北部行政事務組合	6,351	6,288	63	51
岩手県市町村総合事務組合	16,096	15,546	12	12
岩手県自治会館管理組合	51	47	4	4
岩手県後期高齢者医療広域連合	149,246	144,947	4,299	1,487

形式収支…歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支…形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●地方公社・第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(社)葛巻町畜産開発公社	6	299	189	12	434
葛巻高原食品加工(株)	14	211	40	1	99
(株)グリーンテージくずまき	2	19	20	2	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所(株)	▲1	▲187	3	-	-
葛巻町森林組合	2	115	27	-	50

経常損益…営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償…第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

平成24年度 まちの財務諸表

■バランシート（貸借対照表）

「バランシート」には、町が保有する公共施設や現金などの「資産」、借入金などの「負債」、「資産」から「負債」を差し引いた「純資産」が記載されていて、それらのバランから、予算・決算からだけでは把握しにくい町の財政運営の健全性を測ることができます。

●バランシート（貸借対照表） ※平成24年度と平成23年度の比較

（単位：千円）

[資産の部]	平成24年度	平成23年度	差引増減	[負債の部]	平成24年度	平成23年度	差引増減
1 公共資産	22,920,351	23,298,770	△ 378,419	1 固定負債	6,302,810	6,606,359	△ 303,549
(1) 有形固定資産	22,920,351	23,298,770	△ 378,419	(1) 地方債	5,182,934	5,357,189	△ 174,255
(2) 売却可能資産	0	0	0	(2) 長期未払金	68,388	77,113	△ 8,725
				(3) 退職手当引当金	993,011	1,105,982	△ 112,971
				(4) 損失補償等引当金	58,477	66,075	△ 7,598
2 投資等	4,144,164	3,467,897	676,267	2 流動負債	712,370	756,089	△ 43,719
(1) 投資及び出資金	1,211,112	1,209,886	1,226	(1) 翌年度償還予定地方債	664,922	705,393	△ 40,471
(2) 貸付金	175,138	202,804	△ 27,666	(2) 短期借入金	0	0	0
(3) 基金等	2,726,543	2,025,996	700,547	(3) 未払金	8,874	9,007	△ 133
(4) 長期延滞債権	32,298	30,152	2,146	(4) 翌年度支払予定退職手当	0	0	0
(5) 回収不能見込額	△ 927	△ 941	14	(5) 賞与引当金	38,574	41,689	△ 3,115
				負債合計	7,015,180	7,362,448	△ 347,268
				[純資産の部]	平成24年度	平成23年度	差引増減
3 流動資産	1,545,883	1,594,322	△ 48,439	1 公共資産等整備 国県補助金等	6,582,992	6,659,533	△ 76,541
(1) 現金預金	1,538,366	1,584,592	△ 46,226	2 公共資産等整備 一般財源等	17,456,382	16,746,630	709,752
① 財政調整基金	522,493	572,378	△ 49,885	3 その他一般財源等	△ 2,439,561	△ 2,402,339	△ 37,222
② 減債基金	510,261	510,083	178	4 資産評価差額	△ 4,595	△ 5,283	688
③ 歳計現金	505,612	502,131	3,481				
(2) 未収金	7,517	9,730	△ 2,213				
① 地方税・その他	7,774	10,112	△ 2,338				
② 回収不能見込額	△ 257	△ 382	125				
資産合計	28,610,398	28,360,989	249,409	純資産合計	21,595,218	20,998,541	596,677

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

「資産」については、公共施設等の減価償却により有形固定資産が減少（施設の老朽化）しましたが、今後の公共施設等整備（改修）に向けた基金の積み増し等により、合計では前年に比べ約2億5千万円増加しました。

また、「純資産合計」が約6億円増加し、「負債合計」が約3億5千万円減少しています。このことから、この一年間で現役世代の負担による資産の形成が進み、将来世代の負担が減少したことがわかります。

■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	48億円	特定財源	1.3億円
人にかかるコスト		事業に対する受益者負担	
人件費や退職手当引当金繰入等	8億円	使用料、手数料	0.7億円
物にかかるコスト		分担金、負担金など	0.6億円
物件費、維持補修費や減価償却費	20億円		
移転支出的なコスト			
社会保障給付費や補助金など	19億円		
その他のコスト			
公債費（支払利息）など	1億円		
		不足する約47億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

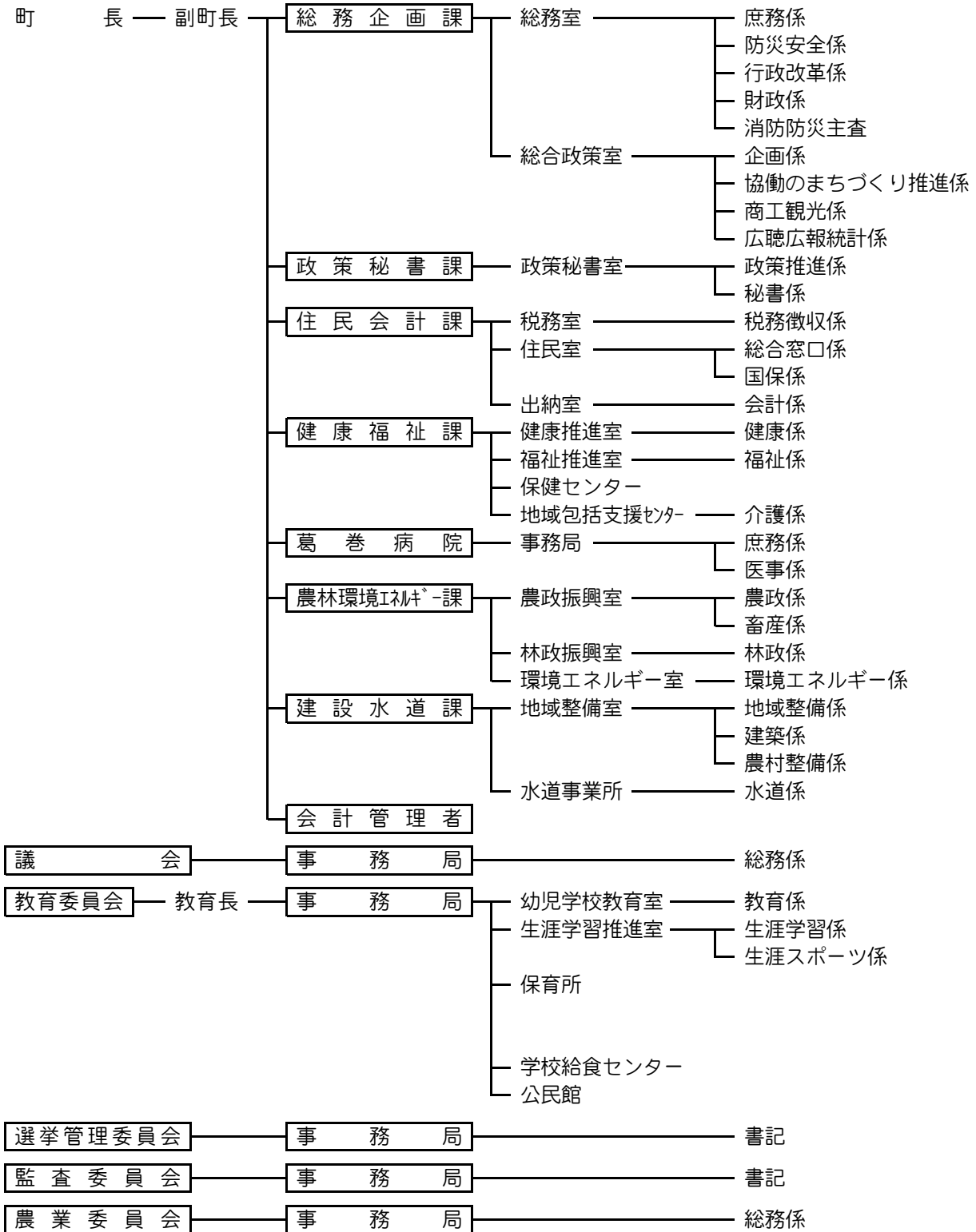
純資産合計	
期首純資産残高	210億円
純経常行政コスト	△ 47億円
一般財源	46億円
地方税	5億円
地方交付税	38億円
その他行政コスト財源	3億円
補助金等受入	11億円
臨時損益	△4億円
期末純資産残高	216億円

■資金収支計算書

町の現金などの資金の流れをその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」に区分し、それに対応する財源を収入として表示したもので、歳入・歳出の実態を反映した財務書類です。

1 経常収支の部	
支出合計	38.8億円
収入合計	58.9億円
経常的収支額	20.1億円
2 公共資産整備収支の部	
支出合計	88.9億円
収入合計	45.6億円
公共資産整備収支額	△43.3億円
3 投資・財務的収支の部	
支出合計	16.0億円
収入合計	0.3億円
投資・財務的収支額	△15.7億円
当年度歳計現金増減額	0.0億円
期首歳計現金残高	5.0億円
期末歳計現金残高	5.0億円

平成26年度 まちの 行政組織



お知らせします！

まちの行財政 2014

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場
総務企画課行政改革係までお気軽にお寄せください。

電話番号 0195-66-2111 (内線 226)

ホームページ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり 119円です。